

市民生活・環境関係

<p>件 名</p>	<p>広報しろいの記事について</p>
<p>内 容</p>	<p>広報しろいにあった「下総基地の米軍機使用絶対反対」の文言を復活させてください。</p> <p>住民、市議会、行政の三者の合同会議で決めたものを勝手に削除するのはいかなもののでしょうか？100パーセントとは言えないが米軍機使用はないからという理由は納得できません。</p> <p>行政が市民の代表である議会の上に立っているということでしょうか？</p> <p>自衛隊の護衛艦空母化が決定しているこの時期にあのスローガンを削除したことにどのような意味があるのでしょうか？</p> <p>平和とくらしを守りたい市民の願いを無視して、空母艦載機の下総基地での訓練に白井の空を明け渡す準備ではないのでしょうか？</p> <p>どれだけの要望が集まれば復活していただけるのか教えてください。</p>
<p>回 答</p>	<p>「下総基地の米軍機使用絶対反対」のスローガンについてお問い合わせいただきました件ついて、お答えいたします。</p> <p>市としては、当時の活動は、市民と議会と行政が一体となって行った歴史的活動であると理解しており、その当時活動されていた方々には敬意を表しております。</p> <p>しかしながら、「下総基地の米軍機使用絶対反対」のスローガンの広報しろいへの掲載については、掲載開始からすでに34年が経過していることから、改めて米海軍空母艦載機の夜間離着陸訓練基地としての海上自衛隊下総航空基地の使用の可能性について確認したところ、米海軍空母艦載機による夜間離着陸訓練は、硫黄島において所要の施設整備を行い、現在はその95%以上が行われていること。同訓練の予備訓練施設が指定（三沢基地、横田基地、厚木基地及び岩国基地）されており、これ以外では行われないこと。反対運動のきっかけとなった米海軍空母航空団の飛行隊の厚木基地から岩国基地への移転が、平成30年3月に完了したこと。さらに海上自衛隊下総航空基地に米軍機使用に関する状況を確認したところ、現時点で同基地を米軍機が使用するという話は聞いていないということなどから、検討した結果、当初の目的は達成したものと捉え、文言の掲載を中止したところです。</p> <p>広報しろいへのスローガンの掲載を中止したところですが、市の姿勢としましては、当時と変わらず海上自衛隊下総航空基地の米軍機使用については反対であり、今後もその姿勢に変わりはありません。</p> <p>今後、何か新たな展開が生じた際には、迅速かつ正確な情報を公開するとともに、必要に応じて広報への掲載を再開したいと考えているところですので、御理解の程お願いします。</p>